



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ジャストシステム
 コード番号 4686 URL <https://www.justsystems.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関灘 恭太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 重田 裕史 TEL 03-5324-7900
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	21,097	△0.3	10,335	4.2	10,508	5.6	7,226	3.7
2022年3月期第2四半期	21,158	—	9,919	—	9,953	—	6,970	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7,220百万円(3.6%) 2022年3月期第2四半期 6,969百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	112.52	—
2022年3月期第2四半期	108.54	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しているため、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	97,472	78,006	80.0
2022年3月期	86,224	71,300	82.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 78,006百万円 2022年3月期 71,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2023年3月期	—	8.00			
2023年3月期(予想)			—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	64,224,800 株	2022年3月期	64,224,800 株
2023年3月期2Q	882 株	2022年3月期	845 株
2023年3月期2Q	64,223,923 株	2022年3月期2Q	64,224,012 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症流行のために停止していた経済活動が徐々に再開されたことにより、個人消費及び雇用情勢は持ち直しの動きが見られるものの、物価上昇等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下において、当社グループは、高機能で付加価値の高い新商品・サービスを提供することにこだわり、既存ビジネスによる安定した収益を基盤としつつ、個人向け・法人向けともに売上高の拡大に向けた提案力の強化や、新たな収益の柱となる新商品・サービスの企画、開発に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は210億97百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は103億35百万円（前年同期比4.2%増）、経常利益は105億8百万円（前年同期比5.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億26百万円（前年同期比3.7%増）となりました。当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益は、いずれも株式上場以来の最高益となりました。

当社はソフトウェア関連事業の単一セグメントであります。個人向け・法人向けに分類すると、個人向け事業の売上高は155億54百万円（前年同期比5.0%減）、法人向け事業は55億43百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

また、サブスクリプション方式で商品・サービスを提供している事業によるストックビジネスの売上高は158億18百万円（前年同期比0.3%増）、全社売上高に占める割合は75.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末比112億48百万円増加の974億72百万円となりました。これは現金及び預金が63億28百万円、有価証券が50億円増加したことが主な要因です。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末比45億41百万円増加の194億66百万円となりました。これは前受収益が36億74百万円、未払法人税等が9億69百万円増加したことが主な要因です。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末比67億6百万円増加の780億6百万円となりました。これは利益剰余金が67億12百万円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日付け「2022年3月期決算短信」において公表した内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,151	68,480
受取手形及び売掛金	2,537	2,568
有価証券	5,000	10,000
商品及び製品	738	415
原材料及び貯蔵品	2,430	1,972
前払費用	2,768	2,143
その他	719	1,066
貸倒引当金	△36	△35
流動資産合計	76,308	86,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,364	2,315
土地	3,569	3,569
その他(純額)	99	87
有形固定資産合計	6,033	5,972
無形固定資産		
ソフトウェア	2,705	2,656
ソフトウェア仮勘定	308	682
その他	0	0
無形固定資産合計	3,014	3,339
投資その他の資産		
投資有価証券	25	25
その他	1,032	1,714
貸倒引当金	△190	△190
投資その他の資産合計	868	1,549
固定資産合計	9,916	10,861
資産合計	86,224	97,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	620	313
未払金	1,748	1,320
未払法人税等	2,843	3,812
前受収益	8,319	11,993
賞与引当金	572	872
その他	694	1,027
流動負債合計	14,797	19,340
固定負債		
退職給付に係る負債	104	101
その他	22	24
固定負債合計	127	126
負債合計	14,924	19,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,146	10,146
資本剰余金	12,293	12,293
利益剰余金	48,989	55,701
自己株式	△1	△2
株主資本合計	71,427	78,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	5
為替換算調整勘定	△123	△132
退職給付に係る調整累計額	△9	△6
その他の包括利益累計額合計	△127	△133
純資産合計	71,300	78,006
負債純資産合計	86,224	97,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	21,158	21,097
売上原価	5,028	4,392
売上総利益	16,130	16,705
販売費及び一般管理費	6,211	6,369
営業利益	9,919	10,335
営業外収益		
受取利息	4	22
受取配当金	0	0
為替差益	5	133
受取賃貸料	22	16
その他	9	5
営業外収益合計	41	177
営業外費用		
賃貸費用	1	0
その他	5	2
営業外費用合計	7	3
経常利益	9,953	10,508
税金等調整前四半期純利益	9,953	10,508
法人税等	2,982	3,282
四半期純利益	6,970	7,226
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,970	7,226

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	6,970	7,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△0	△9
退職給付に係る調整額	△0	3
その他の包括利益合計	△1	△6
四半期包括利益	6,969	7,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,969	7,220

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,953	10,508
減価償却費	870	1,004
賞与引当金の増減額(△は減少)	239	300
受取利息及び受取配当金	△5	△22
為替差損益(△は益)	△5	△133
売上債権の増減額(△は増加)	320	△28
棚卸資産の増減額(△は増加)	△421	780
仕入債務の増減額(△は減少)	△598	△306
未払金の増減額(△は減少)	△1,218	△427
前受収益の増減額(△は減少)	3,657	3,680
前払費用の増減額(△は増加)	900	625
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	0
その他	234	△6
小計	13,931	15,975
利息及び配当金の受取額	4	22
法人税等の支払額	△2,439	△2,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,495	13,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△45	△2,002
有価証券の取得による支出	△2,000	△12,000
有価証券の償還による収入	—	7,000
有形固定資産の取得による支出	△11	△2
無形固定資産の取得による支出	△1,090	△1,261
その他	9	△357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,138	△8,622
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△513	△513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△513	△513
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,849	4,214
現金及び現金同等物の期首残高	47,494	58,541
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,343	62,756

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。